

デンタルスタッフ・ミライ・プロジェクト ニュース vol.90



山崎瑞穂監修 DH Pro. セミナー 第5期

スタンダードコース (講義編)

5月21日(日)開講 午前中 (9:00~12:30) ×4回コース

受講生募集中!

**お申し込みは
お早めに!**

◆◆◆◆◆ 受講生から寄せられた感想 ◆◆◆◆◆

♥ 歯周病については理解しているようで理解しきれないところでもあったので、詳しい説明があり良かったです。

♥ あやふやだった事が詳しく学びました。実際の患者さんのケースなども聞くことができ、わかりやすかったです。翌日からの診療で活かすことができました。

♥ 基礎的なことを学べて良かったです。今までに習ったことの復習もできたり、新たなことも学べたりと、このコースを受講したおかげで自分の引き出しを増やすことができました。

♥ 咬合チェックの知識が増え、患者さんへの説明的ネタが増えて、コミュニケーションが取れるようになりました。



第1回 5/21 (日)

これで完璧! 医療面接と資料採得

- ・社会人、医療人としての接遇マナー ・問診・医療面接の事前対策
- ・メディカルアセスメントの取り方 ・DHカルテの記載方法
- ・口腔内写真撮影の意義と目的 ・レントゲンの読影、セファロ、CT画像について

第2回 6/11 (日)

歯周組織検査のスペシャリストになろう!

- ・痛みを与えないプロービングのコツ ・歯周組織検査、探知&探索
- ・歯周病発症のメカニズム ・歯周組織の炎症状態とその病態の理解
- ・超音波スケラーのあて方 ・TBI…歯ブラシの種類や選択方法

第3回 7/23 (日)

歯科衛生士として知っておきたい咬合基礎知識

- ・DHが知っておきたい咬合チェック ・前歯噛み合わせ
- ・フレミタスチェック、早期接触と犬歯誘導とは? チェックと記載方法について
- ・コンタクトの緩み、コンタクトチェック

第4回 8/27 (日)

超高齢化社会で求められる歯科衛生士の役割とは?

- ・高齢期における予防と求められるDHの対応
- ・口腔が全身に与える影響とは? ~糖尿病と顎骨壊死について~
- ・周術期口腔機能管理と医科歯科連携 ・チーム医療でのDHの役割

スタンダードコース お問い合わせ先 ☎(086) 277-3307 担当: 植原 (うへはら)

DH Pro. セミナー講師
清水望美先生による
コラムのコーナー



プラークコントロールの改善 において大切なこと

患者さんを担当させていただいて、プラークコントロール不良の患者さんに出会うことが度々あります。プラークコントロールの改善において歯ブラシの選択で大切なことは、

- ①患者さん自身が使用しやすく、手首、手指に負担がない物、使用感が心地良く、痛みがなく毎日使える物を選ぶ
- ②歯肉、歯を傷つけずにプラークコントロールしやすい物を選ぶ
- ③う蝕や歯周病予防に効果があるものを選ぶ

そして、メディカルアセスメント®を通してどんな日常を過ごされているのか?を知り、患者さんの思いを理解し、さらにどのような性格なのかなども分析できると、口腔内の改善OHIもスムーズに進みます。

写真の患者さんは市販の植毛本数の少ない山切りカットの歯ブラシが使われていました。患者さんのフェノタイプに合わせた、毛束が密集したラウンド毛の歯ブラシを処方し、OHIを行いプラークコントロール改善に繋がりました。



市販の歯ブラシを使用



医院で処方した歯ブラシを使用